

1. 国語教育の諸相

(分野：国語教育)

講 師：飯田和明

実施日・時間：7月26日(月) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス

6号館2階 6A206

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：12名

準 備 等：ご自身にとって深く記憶に残る実践を紹介できるよう事前にお考えおきください
概 要：担当者から提示する資料、課題と合わせ、受講者のご経験をもとにして、国語教育に関わる諸相を巡って振り返り、現状に係る見方を交流すると共に、言葉の教育について互いに視界を広げ、新たな知見を得ていくことを目標にします。目下の課題とされることだけでなく、従前に遡って回想・想起することを大切に、変化する社会の中での教育、国語教育という視野において検討して頂きたいと考えています。

2. 幼児・児童・生徒ひとりひとりの手持ちの力を尊重し育むための教育を考えてみよう

(分野：特別支援教育)

講 師：石川由美子・齋藤大地・福田奏子

実施日・時間：7月28日(水) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス

7号館1階 ティーチングcommons

対 象 教 員：特別支援学校に勤務している方および小・中・高校に勤務し特別支援教育に興味
関心のある方

定 員：30名

準 備 等：参加者ご自身が印象深く心に残している教育体験エピソードがある方はメモ程度
に当日ご持参ください

概 要：幼児・児童・生徒が“ここの今”自身の手持ちの力を使って充実して生きることができる
環境(対象としての人やモノ)を教育の場に整え共に生き合う。その先にやっと“できる(自立)”
を基盤とした子ども自身の主体的な活動の可能性がみえてくるかもしれないのであって、
“できるようにさせる”ための教育目標と手段が“自立”の前に敷かれる唯一の文脈(状況)で
はないだろう。ひとりひとりの手持ちの力で“ここの今”を生き合うことができる教育という
視点から、教育を考える対話的セミナーを開催します。その時間その場所で出会った主催者と
参加者だから創造できる時間と教育の可能性に興味のある方の参加をお待ちしています。

3. 子ども理解と授業力向上を目指して①

－障害状況にある子どもを理解するということ

：教育的係わり合いからの検討－

(分野：特別支援教育)

講 師：岡澤慎一

実施日・時間：7月29日(木) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：24名

準 備 等：特になし

概 要：本セミナーは、子ども理解と授業力向上を目指し、共同教育学部附属特別支援学校で開講いたします。

本講座では、“障害”の種類や程度に関わらず、障害状況にある子どもを理解する営みとはいかなるものであるかについて検討を重ねます。教育的係わり合いに関する映像資料をふんだんに紹介し、受講者全員でやりとりを重ね、上記の問いへの接近を試みたいと思います。今回は、主に、種々の行動上の問題を抱える重度知的障害事例との教育実践を取り上げます。

なお、本講座は、各種検査法や指導プログラム等を紹介するものではありませんのでご留意ください。

4. 子ども理解と授業力向上を目指して②

－子どもたちが科学を楽しめる工夫や配慮－

－発育期の運動発達－

(分野：理科・保健体育)

講 師：出口明子・加藤謙一

実施日・時間：7月30日(金) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：24名

準 備 等：はさみ 体育館シューズ

概 要：本セミナーは、子ども理解と授業力向上を目指し、共同教育学部附属特別支援学校で学部教員2名により開講いたします。

前半は、科学の不思議について、遊びを通して学べる教材を扱います。ワークショップ形式で体験しながら、子どもたちが科学を楽しめる工夫や配慮について、一緒に考えていきます。

後半は、発育期の運動発達の特徴を解説し、現代の問題点とその解決の手がかりを探ります。また、基本的な動作に関する観察の観点を示し、指導者に必要な運動観察力を高める演習も行います。簡単な運動遊びを紹介しながら動きを高める方法についても扱います。講義だけでなく、実技(運動遊び)も予定しています。内容はハードではないのでご安心下さい！

5. 教科等横断的視点からの授業づくり

(分野：教科教育)

講 師：森田香緒里・人見久城・山野有紀・久保元芳・石川隆行

実施日・時間：7月30日(金) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス

UU プラザ2階コミュニティフロア

対 象 教 員：小学校・中学校

定 員：30名

準 備 等：お手持ちの学習指導要領をご持参ください。

概 要：学校教員に求められる新しい資質・能力の一つに、「教科等横断的視点に基づくカリキュラム・マネジメント」が挙げられているが、その具体的な手法については全国的にまだ試行段階にある。宇大共同教育学部では、「教科横断的視点」をどのように持ち、授業づくりにどのように生かすか、また「深い学び」をどのように実現するか等について、複数の大学教員が共同で授業実践・研究を行ってきた。本セミナーでは、その実践事例を紹介するとともに、受講生間でも教科横断的視点に立った授業づくりについて提案・議論していただく。

一部、ワークショップ形式で行います。

6. 不開講

7. 教師も楽しむ理科実験

(分野：理科教育)

講 師：南 伸昌

実施日・時間：8月2日(月) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟3階 理科教育学学生実験室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準 備 等：白衣、もしくは実験用着衣。安全メガネ(必要に応じて貸出有り)。ハサミ。

概 要：以下について、実験や工作を中心に扱う予定です。

(参加者等により内容を変更する場合があります。)

- ものの重さ：(誤)概念/軽いものの計量
- 燃焼：炎の性質/燃える条件/固体、液体、気体の燃え方/水素の発生と性質の確認
- 水溶液：酸性、アルカリ性とは/身の回りの試薬・指示薬/電気泳動/化学電池
- 電気、磁石：発電、蓄電、利用/超簡単モーターのしくみ
- 光(主に屈折)：陽炎/シュリーレン現象/全反射

実験に適した楽な格好で来てください。(作業着、ジャージ可)

8. 「特別の教科 道徳」の授業の教材と発問

(分野：学校教育)

講 師：和井内良樹・上原秀一

実施日・時間：8月3日(火) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階 大会議室
及び5号館2階 5C21教室

対 象 教 員：小学校・中学校

定 員：50名

準 備 等：特になし

概 要：令和3年度は、「特別の教科 道徳」(道徳科)の実施から、小学校では4年目、中学校では3年目となります。児童生徒の道徳性の育成に向けて、道徳科の授業ではどのような教材を活用しどのように発問をしたらよいでしょうか。具体的な教材を使ってこれらの問題を考えていただきます。小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校の各段階で用いられる代表的な教材を取り上げて、グループワークを中心とした講習を行います。

9. 「現実の世界」を大切にした「データの活用」領域の授業づくり

(分野：算数・数学教育)

講 師：川上 貴

佐伯 昭彦（鳴門教育大学教職大学院）

実施日・時間：8月17日（火） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス UU プラザ2階コミュニティフロア

対 象 教 員：小学校・中学校（数学）・高等学校（数学）

定 員：20名

準 備 等：ご自身の興味ある学校種の学習指導要領解説

概 要：新学習指導要領算数科・数学科では、統計的な内容等の改善・充実がなされました。でも、「データの活用」領域の授業をどう行えばよいのかわからないといった不安はありませんか？「現実の世界」と「データ（統計）の世界」の行き来をするのが統計的な活動の特徴です。本講座では、「現実の世界」と「データ（統計）の世界」を意識しながら、算数・数学の教科書にある統計の教材を見直し、作り替えていく教材研究を通して、「データの活用」領域の授業づくりの要点を一緒に考えていきます。

本講座は、教師教育研究プロジェクトの一環として実施しますので、記録用としてビデオ撮影やワークシート・アンケート等にご協力頂きたくお願い申し上げます。なお、個人情報は、研究目的以外には使用いたしません。また、当日は、他大学の教員とチームティーチングで運営する予定です。

10. 数学的に考える力を育てる授業づくり：数学的活動に焦点を当てて

(分野：数学教育)

講 師：日野圭子

実施日・時間：8月18日（水） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス

8号館2階大会議室

対 象 教 員：小学校・中学校数学科教員

定 員：20名

準 備 等：特になし

概 要：算数・数学科において、数学的に考える力の育成は、益々その重要性が高まっている。本講座では、数学教育研究の動向等を踏まえて、授業づくりのポイントを考える。その際、授業データも示し、数学的活動を授業に取り入れる手立てや教師の役割について考察する。

本講義は、グループワーク等を取り入れながら進めていく。話し合いを通して、自身の授業について振り返り、視野を広げる機会となるようにしたい。教育実践高度化専攻（教職大学院）の院生と一緒に学びます。